

事業報告書（住民主体の地域内交通事業）

団体名 小原地区振興会

<p>事業実施団体名・代表者役職・氏名</p>	<p>小原地区振興会 会長 岩松 義則</p>
<p>事業内容</p>	<p>小原地区の交通弱者に対する課題解決のため、地域内交通の学習会を1回、地域内交通を考える会を4回開催。地域内交通を考える会の中で運行計画を作成し、おらいのくるま号の実証実験を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回小原地区の移動を考える会学習会 2023年6月2日13時30分から 小原公民館 参加人数：27人（予定人数27人） ・第1回小原地区の地域内交通を考える会 2023年7月20日9時30分から 小原公民館 参加人数：12人（予定人数15人） ・第2回小原地区の地域内交通を考える会 2023年8月31日14時から 小原公民館 参加人数：13人（予定人数15人） ・第3回小原地区の地域内交通を考える会 2023年10月24日1時30分から 小原公民館 参加人数：10人（予定人数15人） <p>おらいのくるま号実証実験2024年1月16日から3月26日まで 延べ乗車人数：28人（予定人数42人） （詳細については、別紙運行計画・日報参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回小原地区の地域内交通を考える会 2024年3月13日13時30分から 小原公民館 参加人数：15人（予定人数15人） <p>この事業にかかる地域住民の参加人数合計 105人（予定人数129人）</p>
<p>事業成果や効果</p>	<p>学習会を通して地域内交通の先進事例を知ることができ、小原地区の実情に合った地域内交通を運行したいという機運が高まった。小原地区の地域内交通を考える会を発足し、講師に支援をいただきながら会員の話し合いで運行計画を作成した。作成した運行計画に基づきおらいのくるま号の実証実験を約2か月行なった。利用者からは、「家まで来てくれて助かる」や「安心して乗車できる」などの声があった。また、利用者登録者に対してアンケートを取り、よりニーズにあった運行計画の見直しについて話し合いを行った。</p>

収 支 決 算 書（住民主体の地域内交通事業）

団体名 小原地区振興会

1 収入の部 (単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
人と地域が輝く未来共創交付金	155,000	155,000	
自己資金	0	816	
計	155,000	155,816	

2 支出の部 (単位：円)

項 目	予算額	決算額	うち交付金対象額
事業に係る経費	155,000	155,156	154,500
交付金交付事務に係る経費		660	500
(振込手数料)		(660)	(500)
計	155,000	155,816	155,000

※支出を証する書類（各事業の収支決算書の写し等）を添付すること。